

やまのべ 議会だより

創る、繋ぐ。子どもたちが誇れるまち

2020
令和2年1月28日発行
No.107

やまのべ議会だより
2020年1月号 VOL.107



定例会のあらまし..... 2
 町政のここはどうする? 一般質問..... 4
 新しい町への挑戦 議会活動報告.....13
 さがみっ子議会報告会.....16

写真/さがみっ子議会
(関連記事 16ページ)

発行/山形県山辺町議会
編集/広報常任委員会
Eメール:gikai@town.yamanobe.yamagata.jp
〒990-0392 山形県東村山郡山辺町緑ヶ丘5番地
TEL.023-667-1117 FAX.023-667-1118



町ホームページで
議会中継を
発信中!!

●発行/山形県山辺町議会 ●編集/広報常任委員会
〒990-0392 山形県東村山郡山辺町緑ヶ丘5番地 ○印刷/藤庄印刷株式会社

いつでもニット特別企画

さがみっ子議会

～ 児童の特別委員会による提案型の報告会 ～



相模小学校6年生によるさがみっ子議会特別委員会の発表が、12月6日の本議会最終日開会前の午前9時から、6つの委員会に分かれて行われました。

「自分たちが住みたい山辺町」というひとつのテーマに、それぞれの委員会ごときさまざまな視点から探求し、学び、取りまとめたものでした。大人の私たちも学ぶべきことがたくさんあり、今後のまちづくりに活かしていきたいかなければならないとあらためて感じました。

6年後に選挙人となる皆さんには、これを機会に政治に興味を持っていただきたいと思います。

6つの委員会に分かれて発表しました



ほごにこ子ども特別委員会

山辺PR特別委員会

ザ・ナチュラルランド特別委員会

もっとPR特別委員会

ウェルカム to 山辺特別委員会

健康第一特別委員会

編集後記

皆さまあけましておめでとうございます。

今年は2020年でねずみ年。西暦も干支も、新たなめぐりの始まりを素敵な一年としてスタートできるよう、何事も前を向いていきたいですね。

そして、今年は56年ぶりに東京で夏季オリンピック、パラリンピックが開催される年です。被災地の早期復興を願い、私たちがたくさんの方の声を送りましょう。

また、近年の災害は、これまで想定できなかったものが普通に起きているのが現状です。想定に「過ぎる」ということはないのかもしれませんが、さまざまな備えをしておくことも大切なことです。

渡邊 裕一記

- 発行責任者
議長 樋口 和男
- 広報常任委員会
委員長 渡邊 裕二
副委員長 神保 裕
委員 伊藤 昭彦
委員 齊藤 裕
委員 伊藤 恭彦
委員 竹俣 朋博

◎町ホームページから、議会だよりが閲覧できます。

<http://www.town.yamanobe.yamagata.jp/>



人事・条例・補正予算などを それぞれ同意、可決

山辺温泉保養センター 指定管理者を指定

定例会のあらまし

令和元年第4回定例会が、12月4日から6日までの3日間の日程で開催され、8人の議員が一般質問を行いました。人事案件1議案、条例の改正など9議案、一般会計および特別会計補正予算7議案を審議し、1議案を否決し、16議案はいずれも原案どおり同意、可決しました。

・山辺温泉保養センター 指定管理者の指定



新たな指定管理者の運営となる
山辺温泉保養センター

申請を受け、山辺町公の施設に係る指定管理者選定委員会にてプロポーザル方式による選定を実施し、審査の結果、次の業者が選定された。

株式会社 グリーンケアパーク
寒河江市大字寒河江字久保15番地

指定期間は、令和2年4月1日から令和5年3月31日までの3年間。

・山形市との間における 連携中枢都市圏の 形成に係る連携協約 の締結に関する協議

地方自治法に基づき、圏域の中心都市と近隣の市町村が「連携協約」を締結することの協議について議会の議決を経る必要がある。



・町教育委員会教育長 任命の同意

前任者の残任期間として平成30年4月1日に就任。新たな任期は令和元年12月11日より3年間。
多田 徹氏（清水町）

一般会計補正予算

本年10月からの保育料無償化をはじめ職員の人件費など歳入歳出それぞれ3348万円追加し、**総額 54億6991万円**に。

主な補正内容

- 職員給料および職員手当など **581** 万円減額
- 役場本庁舎の空調機ガス漏れおよび膨張弁の修繕 **230** 万円増額
- 公定価格の改正による保育給付費などの負担金 **2474** 万円増額
- 障害児の複数事業所利用者の増加に伴う負担金 **554** 万円増額
- りんご黒星病の緊急特別対策事業補助金 **105** 万円増額
- 台風19号の被害に伴う排水ポンプ基盤復旧工事 **792** 万円増額
- 台風19号の被害に伴う大蔵棚田復旧工事 **400** 万円増額



将来の山辺町を担う元気な子どもたち



りんご黒星病の被害果



台風19号により被害を受けた大蔵棚田

特別会計補正予算

会計名	理由	本年度予算額
国民健康保険特別会計	平成30年度山形県国民健康保険給付費等交付金の額の再確定に伴い、山形県に超過交付分の返還により歳入歳出それぞれ1956万円を追加	総額 15億2977万円
簡易水道等特別会計	大蔵簡易水道は浄水場の薬剤攪拌機、西黒森・楢実沢・摂待飲雑用水供給施設は、配水管の漏水、杉下飲雑用水供給は浄水場の制御盤の故障などの修繕に歳入歳出それぞれ190万円追加	総額 3566万円
町公共下水道特別会計	流域下水道の前年度納付金分に係る精算整理などで歳入歳出それぞれ521万円減額	総額 4億9793万円
町後期高齢者医療特別会計	広域連合への納付金、保険料収入見込み額の減額、保険料等負担金の精算の増額など歳入歳出それぞれ497万円減額	総額 1億5567万円

再議議案

○一般会計補正予算（第2号）

第3回定例会（9月27日議決）

金額の増減はないものの、上程に際して地方債に係る条文の提示が欠落し、違法であるため、今後の予算執行にも支障が生ずるので、法により再議に付するもの。↓否決

○一般会計補正予算（第3号）は、再議を受けて地方債の補正を追加し、臨時財政対策債は、臨時財政対策債発行可能額の確定により減額するもの。

条例の制定 および一部改正

○町一般職の職員の給与条例等の一部改正
成年被後見人等の権利の制限の適正化等を図るための関係法律の公布および地方公務員法の一部改正に伴い、関係法令の必要な整備をするもの。

○町特別職の職員の給与条例等の一部改正
特別職非常勤職員の厳格化、会計年度任用職員の勤務条件および法改正に係る文言整理など、改正地方公務員法に則って必要な整備をするもの。

○町第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償条例の制定
改正地方公務員法により、パートタイム会計年度任用職員の報酬、手当および費用弁償に係る所定規定を整備するもの。

○町下水道事業の設置等の条例制定
今後も持続可能な経営を続けるため、地方公営企業法を適用することから、新たに条例を制定するもの。

○町第2号会計年度任用職員の給与条例の制定
改正地方公務員法により、フルタイム会計年度任用職員の給与に係る所定規定を整備するもの。

○町土地開発基金条例の一部改正
事業の円滑な執行を図るため昭和45年10月に条例を制定したが、新たに処分規定を設けて、事務手続きなどを明確にするため。

○町簡易水道事業の設置等の条例制定
今後も持続可能な経営を続けるため、地方公営企業法を適用することから、新たに条例を制定するもの。

情報伝達

災害時における情報伝達手段の見直しを

(町長) 情報発信ツールのさらなる周知を図り、発信の強化に努めていく



遠藤真由美

質問 7月に行われたツイッター側の仕様変更が当町の機器設定仕様に適合しておらず、ツイッターに反映されない状態であったことを今回の災害対応後に把握した。現在は機器の設定変更を実施し、問題なく防災放送の内容が発信さ

質問 各地に甚大な被害をもたらした台風19号。当町でも警戒レベル4の避難勧告が発令され、今回ばかりは危機感を感じた町民も多かったようだ。防災放送が聞き取れず不安になった、ホームページを見たが情報が探せないなどの声を聞いたが、今回ツイッターでの発信がなかったのはなぜか。

質問 ツイッターでの発信ができなかったことも問題だが、ホームページでの防災情報もワンクリックしないと見られず、非常に分かりにくい。ページを開けばそこに緊急情報がすぐ出てくるようにすべきでは。

質問 確認していることを確認している。



他の市町村ではホームページのトップに緊急情報を表示(写真は上山市)

質問 急災害発生中」というページに切り替え、災害情報を優先的に表示することは可能であったが、今回は具体的な災害発生にまで至らなかったため切り替えを行わなかった。しかし避難情報発令など災害の発生に等しい状況であったと反省し、今後は適切なタイミングで災害関連情報を優先して表示できるページに切り替え、安全に繋がる情報発信に努めていく。

質問 暴風雨時に防災無線が聞こえないなどの課題は全国で課題になっている。最適な伝達手段として、戸別受信機設置で山間部までほぼ100%カバーできる280MHz帯デジタル同報無線システムを導入する自治体もあるが。

質問 無線が聞こえないなどの課題は全国で課題になっている。最適な伝達手段として、戸別受信機設置で山間部までほぼ100%カバーできる280MHz帯デジタル同報無線システムを導入する自治体もあるが。

質問 無線が聞こえないなどの課題は全国で課題になっている。最適な伝達手段として、戸別受信機設置で山間部までほぼ100%カバーできる280MHz帯デジタル同報無線システムを導入する自治体もあるが。



台風19号により氾濫が懸念された須川

町政の一般質問 ここはどうする？

一般質問は、議員が町の行財政や将来に対する考え方などを問い、適切な町政運営を進めているかチェックするものです。山辺町議会では、年4回の定例会で議員が一般質問をしています。



傍聴しませんか 次回の定例会は3月です。お気軽にお越しください。電話 023-667-1117(議会事務局)

12月定例会では、8人の議員が一般質問を行いました。

- 遠藤真由美** **情報伝達** 災害時における情報伝達手段の見直しを
- 峯田 博** **除雪・住宅建設支援** 除雪と住宅建設等支援 間口の除雪と住宅修繕などの支援拡大を
- 伊藤 恭子** **企業誘致** 山辺町の人口減少対策で 今後の取り組みは
- 神保 稔** **防災対策** さらに、安全安心に暮らせる災害に強い町づくりは
- 佐藤 利和** **学生支援** 学生支援の奨学金制度の現状と課題は
- 竹俣 朋** **医療・介護** 地域医療の在り方 および介護保険の姿とは
- 安達 春彦** **苦情対応** 行政における苦情とその対応は
- 武田啓一郎** **災害対策** 台風19号 避難者率2.63% 避難勧告発令に戸惑い？検証に課題が見えるのでは！

町ホームページで 議会中継を 発信中!!

※一般質問は、一問一答方式ですが、紙面の関係で主な質問と答弁を要約して掲載しています。

企業誘致

山辺町の人口減少対策で今後の取り組みは

(町長) 地域の特性に合った方法で創意工夫が不可欠



伊藤 恭子

質問 町の人口減少問題はきわめて深刻であると考えているが、現状は。

回答 平成27年の国勢調査によると人口が14,369人となっている。今後も減少傾向が続く2045年には1万人を割り込むとされている。

質問 町の人口減少の歯止めとなる取り組みは。

回答 「やまのべ総合戦略」を策定し、減少対策の推進や活力に満ちた地域の実現に向けて、施策や事業の展開に取り組んでいる。今後も計画を切れ目なく継続し、さらに発展させる。

質問 魅力的な企業誘致は、積極的な企業誘致は、若年層が就労できるための、積極的な企業誘致は。

回答 魅力のある新たな企業や、店舗が進出することは地域の活性化および、若者が住みたくなる町づくりに通じる。今後も県や銀行などの関係機関



子どもたちのにぎやかな声が響く山辺町に

質問 「活発な産業を推進するまち」の具体的な施策は。

回答 活性化に向けた支援で、中心市街地の空店舗を活用し、事業を営む者に対し改装経費、賃貸借料の一部補助制度を設けている。新たな創業の支援として活用いただきたい。

質問 と連携を図りながら、有益な情報収集に努め、可能な限り努力していく。

回答 今年度より、町内への移住、定住の促進のため、山形県と連携し支援事業を行っている。東京23区在住者または通勤者が町内に移住し、山形県が設置したマッチングサイトの対象として掲載している求人に対し、最大100万円の移住支援金を支給する。



若者が定住できるような環境整備を

質問 町づくりによりUターン施策の着手を。

回答 定住促進のためのPR動画を作成し、町の魅力を発信している。町民、事業者の協力を得て、ホームページ、ツイッターに掲載している。町内外の多くの方にご覧いただきたい。

質問 消費税分相当額を助成するとの考えなので8%の見直しを検討する。上限は県の一般型と合わせて行いたい。

回答 町単独事業である「山辺町住宅建設等支援事業」の補助金の額は現在8%だが、これを10%に引き上げ、上限を30万円にできないか。

除雪・住宅建設支援

除雪と住宅建設等支援 間口の除雪と住宅修繕などの支援拡大を

(町長) 間口処理に留意。住宅修繕支援の見直し検討



峯田 博

質問 JR東日本左沢線営業所に確認したところ、「利用者の安全を考慮し、線路を横切る設備は考えられない」との回答。

回答 J R東日本左沢線営業所に確認したところ、「利用者の安全を考慮し、線路を横切る設備は考えられない」との回答。



冬本番を待つ除雪車

質問 山辺町住宅リフォーム支援事業の交付要綱では、工事請負業者は「県内に本店のある法人又は個人事業者」となっているが、町内の建設業者にとってはこの事業は大変有り難い制度であるため、町の経済活性化のために、要綱を「町内の個人事業者又は本店のある業者」と改正しては。

回答 山辺町住宅リフォーム支援事業の交付要綱では、工事請負業者は「県内に本店のある法人又は個人事業者」となっているが、町内の建設業者にとってはこの事業は大変有り難い制度であるため、町の経済活性化のために、要綱を「町内の個人事業者又は本店のある業者」と改正しては。

質問 町単独事業である「山辺町住宅建設等支援事業」の補助金の額は現在8%だが、これを10%に引き上げ、上限を30万円にできないか。

回答 町単独事業である「山辺町住宅建設等支援事業」の補助金の額は現在8%だが、これを10%に引き上げ、上限を30万円にできないか。

質問 網に沿って行う。

回答 網に沿って行う。

質問 高齢者世帯の家の間口の除雪を丁寧に行えないか。

回答 全ての高齢者世帯の間口はできないが、委託業者には配慮が必要なお客には丁寧な作業をお願いしている。

質問 清水町内の町道を利用して登校する中学生が多数いる。町内の交差点には道路標示はあっても道路標識はなく、積雪で道路標示が見えなくなるとどちらの道路が優先道路か分からなくなる。道路標識の設置を切に要望する。

回答 県公安委員会に要望する。

質問 現在のところ実施は困難。

回答 現在のところ実施は困難。



仙山線桶山駅構内踏切

学生支援

学生支援の奨学金制度の現状と課題は

(町長) 奨学金返還の支援および奨学金貸付制度の維持と新たな給付型奨学金制度等の周知に努める



佐藤 利和

質問 大学生の半数が奨学金を利用しており返済不能の問題を抱えている昨今、現在山辺町が行っている奨学金制度の現状は。

質問 大学生の半数が奨学金を利用しており返済不能の問題を抱えている昨今、現在山辺町が行っている奨学金制度の現状は。

質問 大学生の半数が奨学金を利用しており返済不能の問題を抱えている昨今、現在山辺町が行っている奨学金制度の現状は。

質問 大学生の半数が奨学金を利用しており返済不能の問題を抱えている昨今、現在山辺町が行っている奨学金制度の現状は。

質問 現行の奨学金の返済条件は新社会人にとって負担になり兼ねない。返済延滞の問題もあり返済期間の延長はできないか。

質問 現行の奨学金の返済条件は新社会人にとって負担になり兼ねない。返済延滞の問題もあり返済期間の延長はできないか。

質問 現行の奨学金の返済条件は新社会人にとって負担になり兼ねない。返済延滞の問題もあり返済期間の延長はできないか。

質問 現行の奨学金の返済条件は新社会人にとって負担になり兼ねない。返済延滞の問題もあり返済期間の延長はできないか。



二宮尊徳先生の勤勉さに学ぶ

質問 現時点では行財政改革並びに原資の問題があり困難である。他の奨学金制度の利用、また日本学生支援機構で令和2年4月より新たに給付型の奨学金制度が始まるので、そちらの活用周知に努めたい。

質問 現時点では行財政改革並びに原資の問題があり困難である。他の奨学金制度の利用、また日本学生支援機構で令和2年4月より新たに給付型の奨学金制度が始まるので、そちらの活用周知に努めたい。

質問 現時点では行財政改革並びに原資の問題があり困難である。他の奨学金制度の利用、また日本学生支援機構で令和2年4月より新たに給付型の奨学金制度が始まるので、そちらの活用周知に努めたい。

質問 現時点では行財政改革並びに原資の問題があり困難である。他の奨学金制度の利用、また日本学生支援機構で令和2年4月より新たに給付型の奨学金制度が始まるので、そちらの活用周知に努めたい。



わが町から第二の安達博士を

質問 その日本学生支援機構で、令和2年4月から始まる新たな給付型奨学金制度の具体的な内容は。

質問 その日本学生支援機構で、令和2年4月から始まる新たな給付型奨学金制度の具体的な内容は。

質問 そのような制度に町民が相談しやすい環境を整えているか。告知などはしているのか。期間限定でも就学支援の相談窓口など設けてはどうか。

質問 そのような制度に町民が相談しやすい環境を整えているか。告知などはしているのか。期間限定でも就学支援の相談窓口など設けてはどうか。

防災対策

さらに、安全安心に暮らせる災害に強い町づくりは

(町長) 各地の被災状況を検証し、支援体制の強化と地域防災力の向上に努める



神保 稔

質問 午後10時過ぎでの避難準備、高齢者等避難開始発令だったが、各地の災害を教訓として、明るい時間帯での避難発令はできないか。

質問 午後10時過ぎでの避難準備、高齢者等避難開始発令だったが、各地の災害を教訓として、明るい時間帯での避難発令はできないか。

質問 午後10時過ぎでの避難準備、高齢者等避難開始発令だったが、各地の災害を教訓として、明るい時間帯での避難発令はできないか。

質問 午後10時過ぎでの避難準備、高齢者等避難開始発令だったが、各地の災害を教訓として、明るい時間帯での避難発令はできないか。



町総合防災訓練時の集合の様子

質問 雨上沢川や緑ヶ丘地内水路、小鶴沢川、沢上川などの

質問 雨上沢川や緑ヶ丘地内水路、小鶴沢川、沢上川などの

質問 平成11年に県が事業主体で要害黒坂地内に築堤した「治山ダム」の今後、増築に向けた取り組みは。

質問 平成11年に県が事業主体で要害黒坂地内に築堤した「治山ダム」の今後、増築に向けた取り組みは。



緑ヶ丘地内の水路に繁茂した草木

質問 町での被災地への救援活動に向けた取り組みは。

質問 町での被災地への救援活動に向けた取り組みは。

質問 災害発生時の対応はもろろん、災害の恐ろしさを再認識し、自分の地域に置き換え、周辺の危険性、安全な避難所、防災体制など各方面から検証するため検討していきたい。

質問 災害発生時の対応はもろろん、災害の恐ろしさを再認識し、自分の地域に置き換え、周辺の危険性、安全な避難所、防災体制など各方面から検証するため検討していきたい。

苦情対応

行政における苦情とその対応は

(町長) 職員の資質向上並びに諸施策の質の向上に活かすべく、前向きに取り組んでいきたい



安達 春彦

質問 どの程度苦情があるのか。

答弁 平成23年度から継続して研修を実施している。苦情マニュアルには特化していないが、サービス向上を目的とした「窓口対応マニュアル」を作成し7月には改訂も行った。

質問 「企業における消費者対応体制に関する実態調査報告書」によると企業各社で消費者対応体制の維持が図られている。役場内にも対応マニュアルの制定や研修などによる対応力向上の機会を作ることが重要ではないか。

答弁 庁舎内の掲示板に載せて閲覧できするようにしている。

質問 マニュアルほどの程度役所内に浸透しているのか。

答弁 各課の判断にもよるが今年度対応分で計33件。



説明不足にならない良好なコミュニケーションを

質問 クレーム類の事象が発生してからの役所内報告フローなど、一連の流れは決まっているのか。

答弁 前提として各課からボトムアップ式に作成されたマニュアルになっている。今後研修などを図り徹底したい。

質問 定着させるための取り組みは行っているのか。

質問 役場全体がサービス業の精神で対応すべく、クレームから声、意見を抽出し、役場内で全てのクレームが共有されるスキームをつくるのができれば合理的だが、各課での対応から窓口を一

答弁 現在は上司がいち早く対応しているが、組織として対応していかねばならないと思っている。今後作成を検討している。

質問 町民の声をダイレクトに拾う「目安箱」のようなものは設置されているのか。

答弁 窓口の一本化は難しいところであるが、各課と調整を図っていききたい。



多様化するクレーム窓口の設置を

答弁 設置しておらずメールで町に対する要望を受けている。

医療・介護

地域医療の在り方 および介護保険の姿とは

(町長) さらに医療と介護の連携強化を推進していく



竹俣 朋

質問 国による医療機関の見直しと再編整備の動きで、県内でも7つの病院が公表され、病院関係者や地域住民を不安に陥らせた。当町には該当はないが、他人事とは思えない。今後の地域医療の在り方は。

答弁 病院が存在する自治体の問題であるが、人口減少が進む中、病院の再編整備は避けられないと認識している。町には現在9施設がある。山形市に隣接していることから大病院への受診もしやすく、通常の通院は町のかかりつけ医、精密検査や入院は町外の病院という方向で今後も医療面での充実を図ればと考えている。

質問 医療と介護の連携については。

答弁 基本的な考えはその方が住み慣れた地域で自分らしく最後まで暮らすことである。介護状態となっても在宅で医療・介護を受けられるよう医療と介護が連携できる体制の強化を進めている。



在宅介護者激励会にて、介護者一人ひとりをハンドマッサージで癒してくれる県立山辺高等学校専攻科の生徒たち

質問 要介護となると健康体に戻るのにはなかなか難しいと思うが、介護保険の姿とは。

答弁 介護保険法は要介護にかかる負担を社会全体で支援するための保険制度である。健康体に戻るのには困難だが、状態の改善と悪化予防のケアプランで尊厳を保ちながら自分らしく生活できるように支援を行っている。要介護の高齢者と家族にとって必要不可欠な制度である。

質問 健康寿命を伸ばすための介護予防に関する町の取り組みは。

答弁 町は、介護予防の取り組みに重点を移している。公民館において介護予防運動や栄養口腔健康指導／老人クラブ対象の介護予防に関する講座／輝らりやまのべの43コースの教室。他にも住民の自主活動を介護予防事業として町が支援



県立山辺高等学校専攻科の生徒たちによる介護講座(在宅介護者激励会)

質問 町長にはさらに医療介護のリーダーシップをとって欲しいと思っているが。

答弁 国の社会保障制度審議会医療部会委員として発言をしてきた。医療費抑制、医療従事者の働き方改革など議論を重ねている。これからの住みやすい町になるよう、ともに進んでいきたい。

一般質問

災害対策

台風19号 避難者率2.63%

避難勧告発令に戸惑い？検証に課題が見えるのでは！

(町長) 情報伝達や避難所開設など災害対応力の向上を図る



武田啓一郎

質問 近年になかった警報レベル4という避難勧告発令に対し、避難対象者7、038人の内185人が避難された。避難者率2.63%という結果の検証と課題は。

答弁 大雨により防災放送が聞こえづらく情報の入手が難しくなったことや、避難情報の発令時刻が夜間であったこと、避難情報発令時の行動に住民が不慣れであったこと、また「自分のところは大丈夫」といった先入観が心理的に働く「正常性バイアス」なども避難率低下の一因と考えている。

質問 町も、住民への情報発信の仕組みの強化も含め、災害情報の積極的な収集、避難行動の重要性について、さらなる働きかけを行ってほしい。



暴風雨の雨音と底冷えする体育館では、避難された方々の心も…旧大寺小学校体育館

質問 9か所の指定避難所を開設し、職員が対応にあたった。自主防災組織が運営に携わり、積極的な活動を行っていただいたところもあった。

答弁 職員が避難所運営に関して経験も少なかったことなどから、一部混乱を招いたことも事実。職員訓練などを積極的に実施し、対応能力の向上と自主防災組織などの連携した取り組みが図られるよう検討していく。

質問 避難所において、避難者への対応は適切だったか。

答弁 避難勧告が夜間になったことや、季節的な気温低下などで、施設によっては必ずしも快適な環境とは言えずご不便をおかけしたところも多々あった。今回の災害対策を十分精査し、適切な対応について検討を進めるとともに、公助としての役割に努めていく。

質問 要配慮者への対応は。

答弁 避難支援等関係者連絡会を組織し、最低年1回の打ち合わせをしているが、関係者の参集状況が地域によって異なり、避難支援のおくれが出たところもあった。関係者の意識向上も含め、より実効性のある仕組みづくりに向け

質問 予期せぬ災害に、近々の対策課題は。

答弁 情報伝達の在り方や避難所開設運営、要配慮者への対応など、さまざまな課題や問題点が浮き彫りになった。少しでも解消すべくさまざまな視点で検証し、公助としての災害対応力の向上につなげていくが、地域の方々からも自助・共助の取り組みと、さらなる連携強化を図っていただきたい。



旧大寺小学校体育館の避難所では自主防災関係者が朝まで詰めた

国道458号改良促進特別委員会

国道458号と上宿・西之表間道路の拡幅、歩道整備早期改良の要望書を提出



角湯県土整備部長へ要望書を提出



朝の通勤時間は交通量も多い

山辺町議会12名全員で鈴木孝典議会副議長とともに、11月12日に、角湯県土整備部長と、松葉村山総合支庁建設部長に、整備の早期促進のため要望書を提出してきました。中学校の移転および、山辺小学校と大寺小学校の統合により通学路が大きく変わり、現在、地域の皆様や交通指導員の方々に安全を確保していただきながら子どもたちは学校に通っています。歩道未整備の道を通勤の車が行き交う中、小学生は北へ、中学生は南へと通学する非常に危険な道路もあります。上宿・西之表間の歩道が整備され、さらには国道458号が町西側にバイパス化されることにより、子どもたちの通学の安全が図られ、さらには危険な狭い通学路を通ることなく、自動車も安全に通行できるようにする予定です。国道458号は、中山町側から交差点ごとに改良していくという回答でした。

要望書提出のための交通量の調査を実施



おーばん交差点	449台
西之表交差点	665台
朝日町へ向かう交差点	718台
天神交差点	965台

(平日朝7時から8時の1時間あたり)

上宿・西之表間は、県道事業として事業着手中で、用地測量にあたっていきます。

ゆりかご児童クラブによる感謝の会 公共施設の有効活用

町より委託を受け、学童保育事業を行っているゆりかご児童クラブの「感謝の会」が、11月27日に旧大寺小学校で開催されました。仕事帰りに駆け付けてくれた保護者の方で、代表児童が読み上げた手紙からは、両親への日頃の感謝の気持ちがよく伝わってきました。今後も学童希望者は80人を超えることが予想され、現在、広い場所でのびのびと過ごしていることから、4月からこのまま旧大寺小学校を使わせて欲しいなどの要望が出されました。



ゆりかご児童クラブ感謝の会の一コマ

朝日・山辺両町議会議員協議会

朝日町議会議員との懇談会

両町の議員懇談会が11月16日、わが町で開かれました。10月12日夜から13日未明にかけて襲来した台風19号によって、当町でも河川氾濫警戒レベル4の避難情報が出されました。その記憶がまだ鮮明に残っているこの日、須川三河橋左岸で国交省との連携で建設中の「1000年に1度の大雨にも耐えられる堤防のかさ上げと緊急車両が駐車できる防災拠点整備事業」を見学・説明を受けました。

また、特別養護老人ホームやまのべ荘を訪問し、台風19号襲来時の対応の説明を受けました。夜間に職員を緊急招集し、1階の各部屋の利用者を全員2階に約1時間で避難を完了したこと。防災拠点整備事業でかさ上げされた堤防へ施設の2階から脱出できるブリッジが出来たことを喜ばれていました。その後、庁舎会議室でそれぞれの議会が進めている議会の活性化や有害鳥獣対策についての話し合いを行いました。



最上川上流須川立谷川地区外河道整備工事の現場視察

厚生産業常任委員会

台風19号被災現場および所管現場視察

台風19号被災現場および所管現場を11月7日、厚生産業常任委員会全員で視察し、担当課長から説明を受けました。先の台風19号で、日本の棚田百選にも選ばれた大蔵棚田の法面の一部が崩落していました。現在ブルーシートで覆われていますが、景観に配慮した早急な修復工事が待たれます。

また、玉虫沼農村公園かおりの広場では、ラベンダーまつり後の公園内の様子を確認しました。今年度は天候不順によりラベンダーの苗が痛み、根腐れも見受けられました。初夏から夏にかけて1万5千人の人々でにぎわう町の大切な観光資源が存続できるよう、しっかりと原因を探り、十分な対策を求めました。

山辺中学校北側の町道清水緑ヶ丘線の道路改良工事においては、通学路の安全確保に万全を期するとともに、防犯灯や街路灯が少ないため、検討するよう要望しました。



厚生産業常任委員会の現場視察（町道高桶金沢線）



玉虫沼農村公園かおりの広場の視察

町商工会役員懇談会・山辺町議会議員

町商工会発展に向けて開催

12月13日、商工会役員と全議員の懇談会が商工会館にて開催されました。商工会の現状報告や目標達成に向けた各部署からの活動報告が行われ、議員からは、商工会の活動は町の活性化につながり、山辺町への誘客拡大や伝統産業の継承、人材育成の取り組みなどについて意見が交わされました。

各部署からの意見・要望は以下の通りです。

- ・商業 プレミアム商品券の発行を継続していただいているおかげで大きな経済効果が生まれている。
- ・工業 ネット、絨毯、機械産業など、山辺の高品質なものづくりをアピールしながら販路拡大に努めている。
- ・建設業 山辺町住宅建設等支援事業補助金や住宅リフォーム支援補助金を続けていただきたい。



活発な意見が飛び交った

県町村議会議員研修会

住民に身近な自治体会議の取り組みを

山形県町村議会議員研修会が10月16日、山形国際交流プラザで行われました。まず、明治大学政治経済学部教授の牛山久仁彦氏から「議員なり手不足と住民参画を考える」との演題で、講演がありました。身近な議会として、議会開催の方法の工夫や議会報告会の在り方、若者参加・女性参加などをさらに進めていく必要性を感じました。

続いて、政治評論家の有馬晴海氏から「どうなる日本の政治と経済」と題しての講演がありました。テレビのコメンテーターとしても活躍されており、その話術に次第に引き込まれていきました。国の財源不足や人口減少など、喫緊の課題についての内容でありましたが、中央省庁での裏話などを交えた内容の濃い講演でした。これからの日本の厳しさと輝く未来を考えさせられるような有意義な研修となりました。



国や自治体の在り方について考えさせられる時間となった

イベント情報

イベント	場所	期日	内容	問合せ
山形市 蔵王樹氷まつり2020	蔵王温泉スキー場	3月1日(日)まで	1千人松明滑走、冬のHANABI、樹氷ライトアップなどの多彩なイベント	蔵王樹氷まつり協議会 Tel 647-2266
上市市 特別展 茂吉の妻「斎藤輝子」苦難を越えて	斎藤茂吉記念館	3月31日(火)まで	茂吉と妻「輝子」と欧州各地を巡った旅やエベレスト登山など108か国を遊歴した輝子の猛女ぶりや家族との関わりを紹介。	公益財団法人 斎藤茂吉記念館 Tel 672-7227
中山町 2020旧柏倉九左衛門家ひなまつり	・旧柏倉九左衛門家 ・旧柏倉惣右衛門家 ・岡地区文化交流センター	3月1日(日)~8日(日)	江戸時代から明治時代にかけて集められた、享保雑や古今雑など柏倉家4家のお雛様が展示されます。	2020旧柏倉九左衛門家ひなまつり実行委員会 Tel 662-2235